



# 2016年3月期第2四半期決算説明会

悪沢岳（蕨ノ段から）



## 特種東海製紙株式会社



# 目次

・ 会社概要	(p1)	<b>第3次中計の進捗状況</b>	
<b>2016年3月期第2四半期連結決算概要</b>			
・ 第2四半期連結業績実績	(p2)	・ 島田工場 新バイオマスボイラーの建設状況	(p13)
・ 経常利益の増減要因(第2四半期)	(p3)	・ 新タオルマシン(2台目)の建設中	(p14)
・ セグメント情報	(p4)	・ ガラス合紙 倉庫の増設	(p15)
<b>2016年3月期通期連結業績見通し</b>		<b>NaSFAの進捗状況(新商品の開発)</b>	
・ 2016年3月期連結業績見通し	(p5)	・ NaSFAについて	(p16)
・ 2016年3月期経常利益増加要因 及び中計最終年度へ向けてのアクションプラン	(p6)	・ 新ガラス合紙のシェア拡大	(p17)
・ 島田工場 新チップサイロの完成	(p7)	・ エアラス展 全日本空間デザイン大賞・ 日本経済新聞社賞受賞	(p18)
		・ 偽造防止用紙の拡販	(p19)
		・ TT-除染シートの状況	(p20)
<b>日本製紙との段ボール原紙 及びクラフト紙事業に関する基本合意書の締結</b>			
・ 事業提携の概要	(p8)		
・ 業界シェア(2014)	(p9)		
・ 主要生産拠点	(p10)		
・ 事業提携の狙い	(p11)		
・ 今後のスケジュール	(p12)		



## 会社概要

- **社名** 特種東海製紙株式会社
- **本店所在地** 静岡県島田市向島町4379番地
- **設立** 2007年4月
- **代表者** 代表取締役社長 社長執行役員 三澤清利
- **資本金** 11,485百万円
- **従業員数(連結)** 1,506名(2015年3月)
- **事業内容** 紙・パルプの製造、加工、販売
- **工場** 三島、島田、横井、岐阜



# 2016年3月期第2四半期 連結決算概要



## 第2四半期連結業績実績

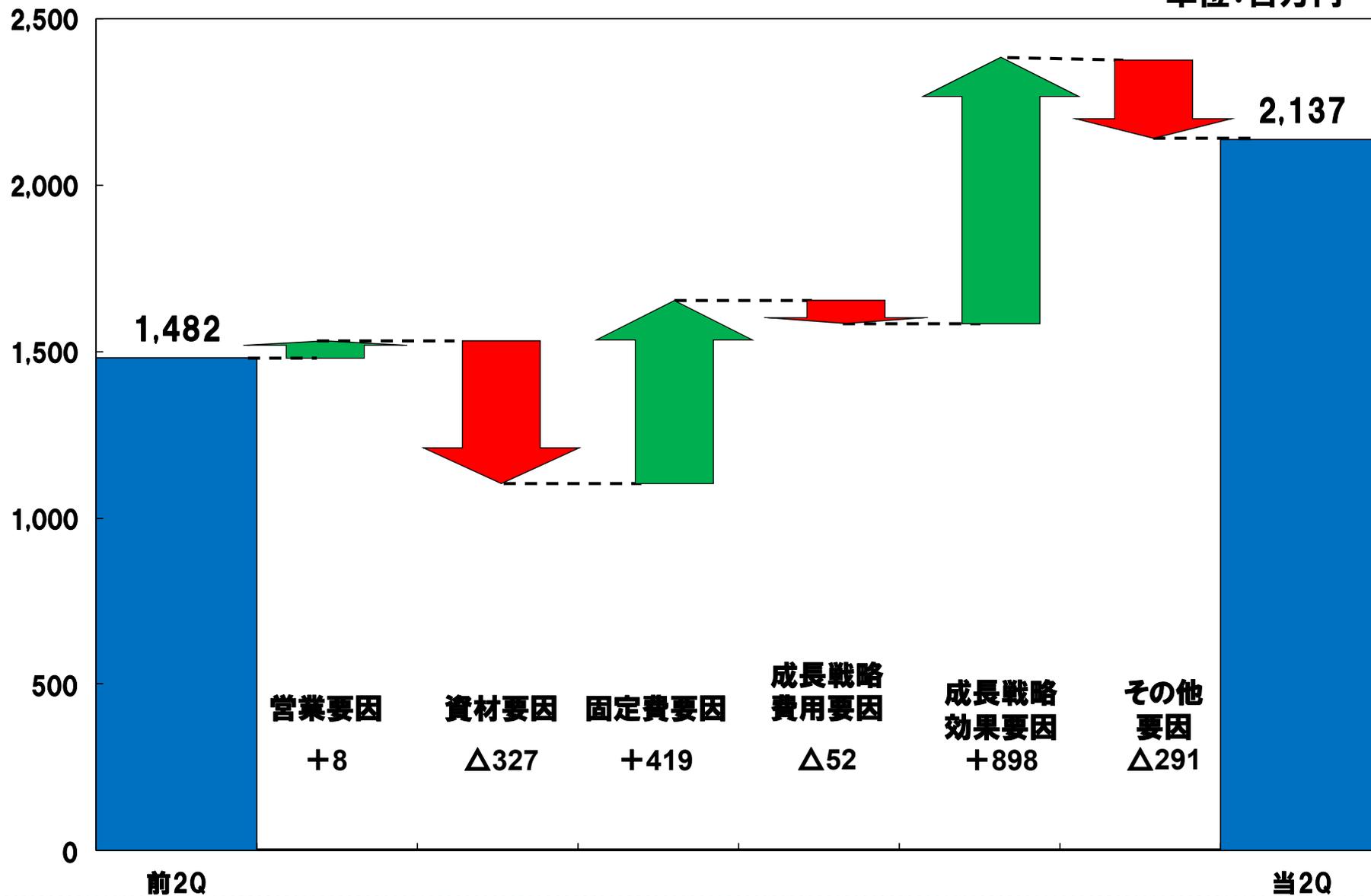
(単位:百万円)

	前2Q実績	当2Q実績	前年変化
売上高	39,470	39,535	+65
産業素材	20,906	20,811	△95
特殊素材	10,745	11,266	+521
生活商品	8,416	8,529	+113
営業利益	1,353	2,020	+667
産業素材	159	558	+399
特殊素材	1,028	1,362	+334
生活商品	255	169	△86
経常利益	1,482	2,137	+655
親会社株主に帰属 する四半期純利益	791	1,306	+515

注)各事業セグメントの売上高、営業利益は連結相殺消去前の数字であり、その合計額は連結売上高、連結営業利益とは一致しません。

# 経常利益の増減要因(第2四半期)

単位:百万円



## セグメント情報

単位:百万円

		前2Q実績	当2Q実績	増減
産業素材 事業	売上高	20,906	20,811	△95
	営業利益	159	558	+399
特殊素材 事業	売上高	10,745	11,266	+521
	営業利益	1,028	1,362	+334
生活商品 事業	売上高	8,416	8,529	+113
	営業利益	255	169	△86
その他	売上高	1,979	1,821	△158
	営業利益	69	74	+5
消 去	売上高	△2,576	△2,893	△317
	営業利益	△160	△143	+17
合 計	売上高	39,470	39,535	+65
	営業利益	1,353	2,020	+667



**2016年3月期  
通期連結業績見通し**



# 2016年3月期連結業績見通し

(単位:百万円)

	前年実績	通期見通し	変化
売上高	78,843	78,000	△843
営業利益	2,477	3,100	+623
経常利益	2,761	3,000	+239
産業素材	△96	272	+368
特殊素材	2,243	2,476	+233
生活商品	395	456	+61
親会社株主に帰属する当期純利益	204	1,400	+1,196
営業利益+減価償却費	9,183	9,700	+517

**前提**  
**為替レート**  
**下期125円/US\$**  
**原油価格 57\$/B**  
 (ドバイ)

注)各事業セグメントの経常利益は事業部内損益を消去した金額になります。

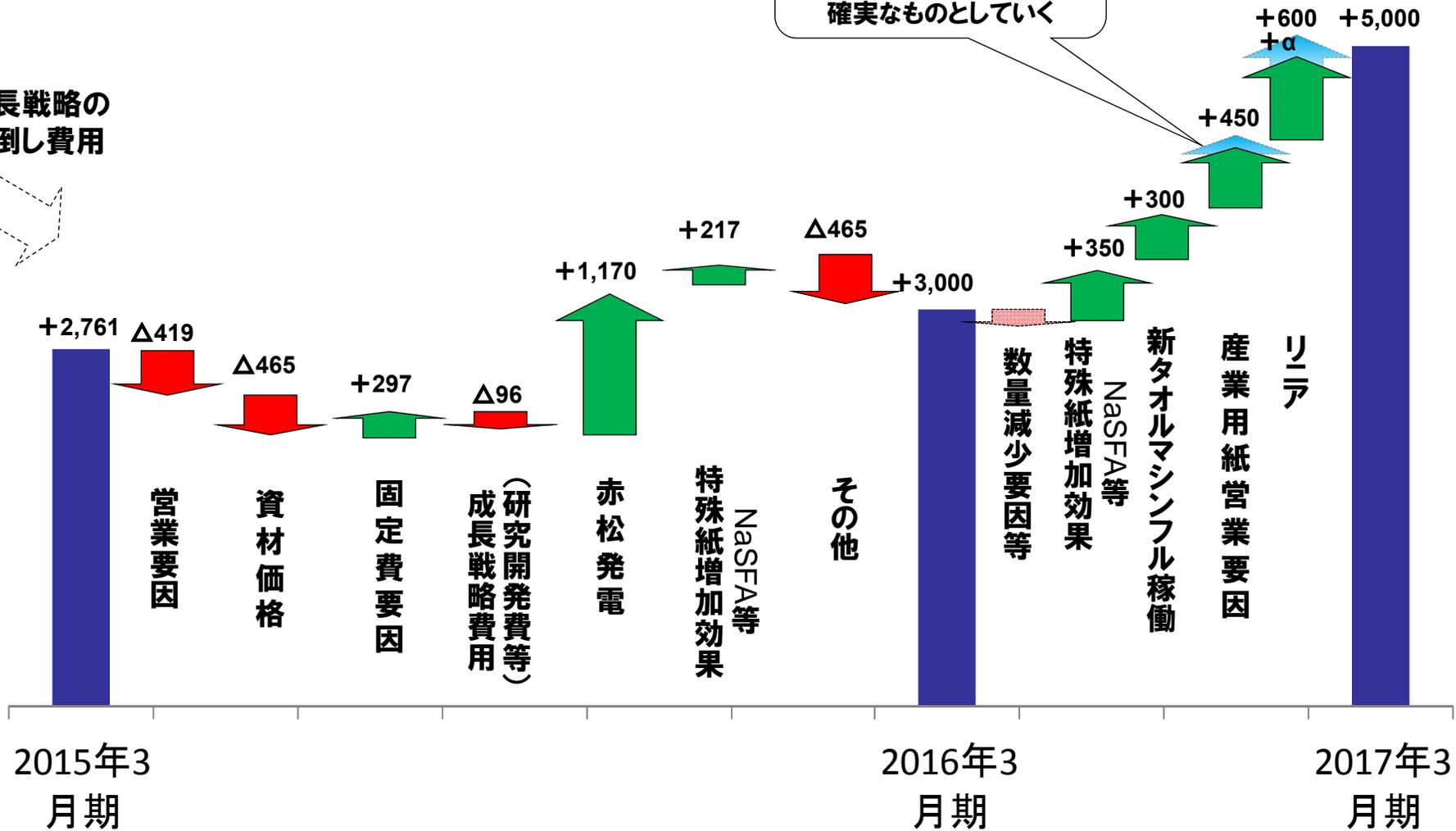
# 2016年3月期経常利益増加要因及び中計最終年度 へ向けてのアクションプラン

2016年3月期 為替前提  
下期 125円

(単位:百万円)

成長戦略の  
前倒し費用

産業素材事業の安定化  
日本製紙との提携により  
確実なものとしていく



# 島田工場 新チップサイロの完成

## 内容



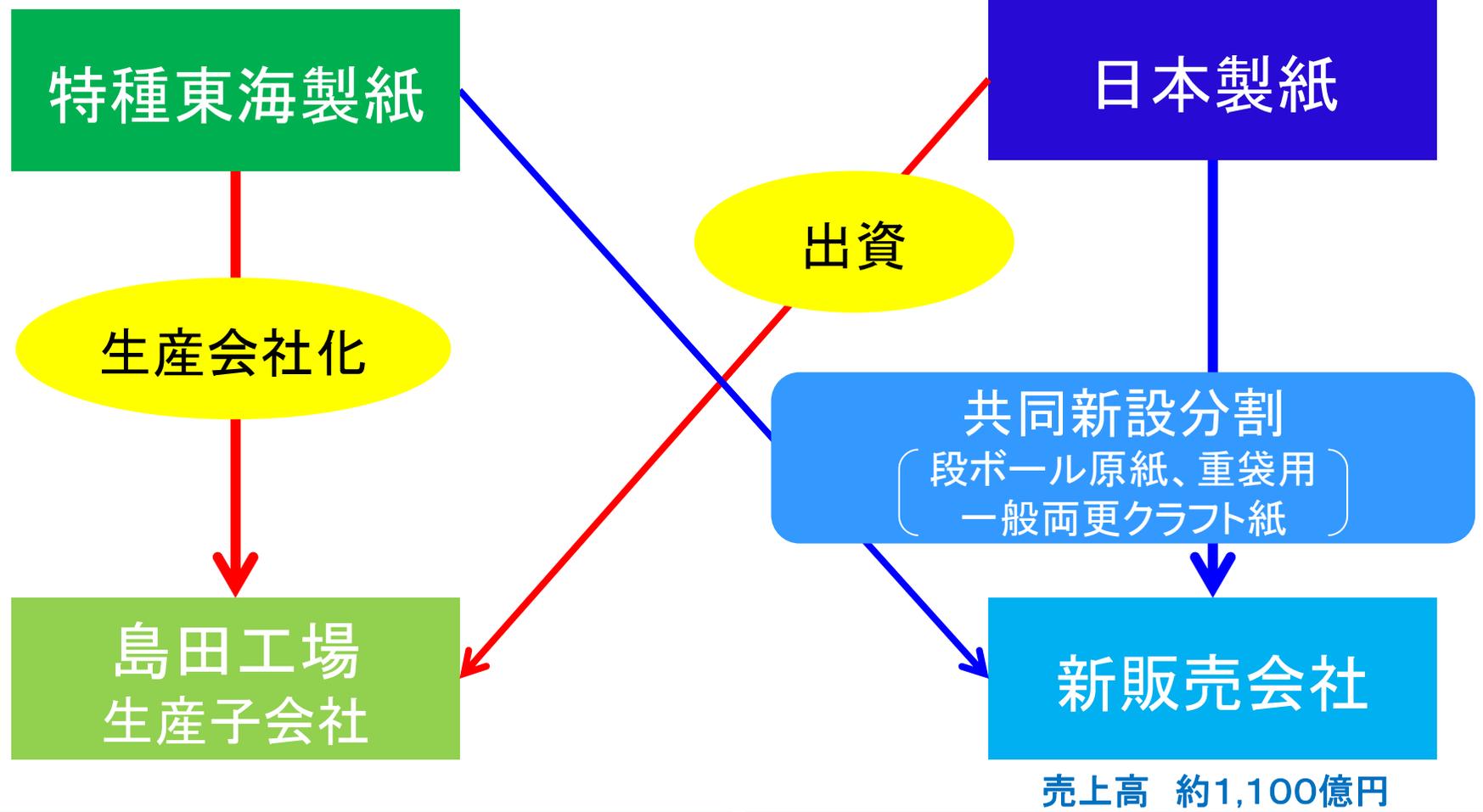
- 6月より一部払出開始
- 工程の遵守による、全設備の稼動(2016年1月)
- サイロ火災に伴う操業低下・チップ横持配合悪化影響額 ⇒ ゼロとなる  
(9月までの特別損失「異常操業損失」206百万円)



# 日本製紙との段ボール原紙及びクラフト 紙事業に関する基本合意書の締結



# 事業提携の概要



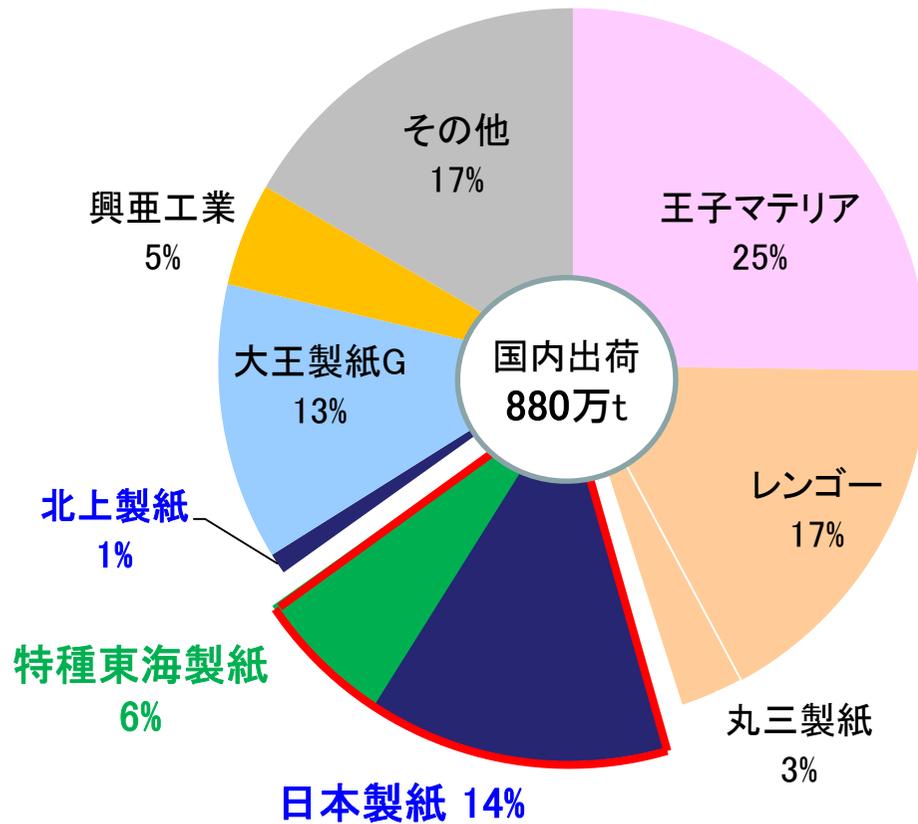
特種東海: 50%超 (連結子会社)  
日本製紙: 33.4%~50%未満 (持分法適用会社)

日本製紙: 50%超 (連結子会社)  
特種東海: 33.4%~50%未満 (持分法適用会社)

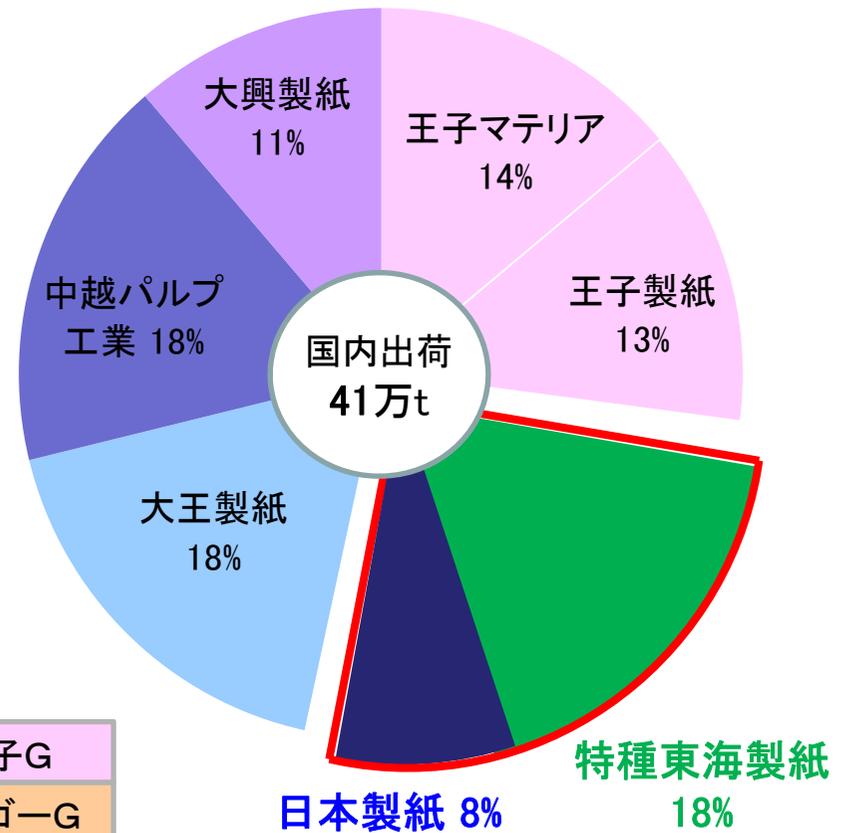
売上高 約1,100億円

# 業界シェア(2014)

段ボール原紙  
(市場規模 約5,000億円)



重袋用・一般両更クラフト紙  
(市場規模 約400億円)

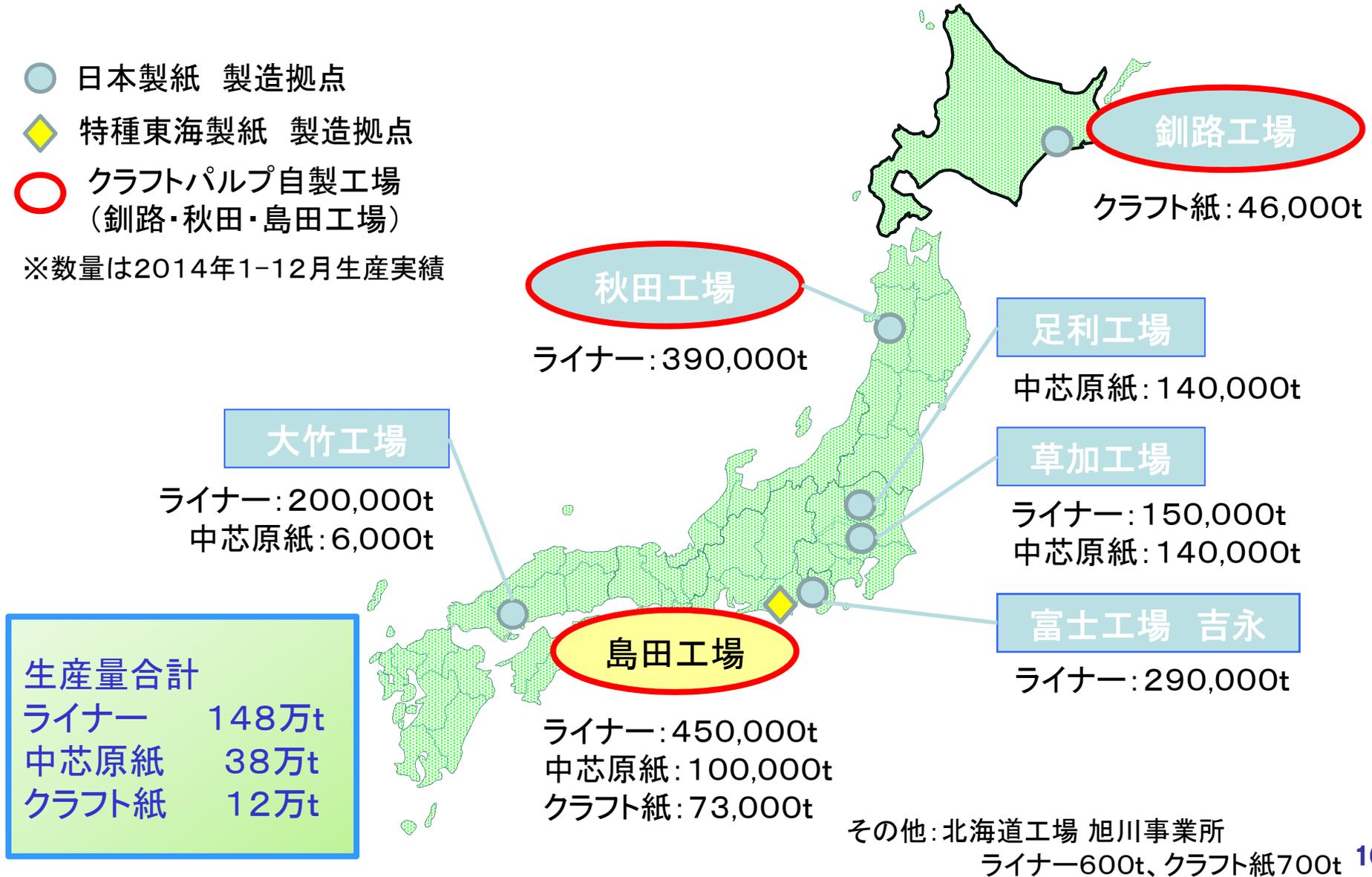


※国内出荷シェア  
※市場規模は、いずれも推定値

# 主要生産拠点

- 日本製紙 製造拠点
- ◆ 特種東海製紙 製造拠点
- クラフトパルプ自製工場  
(釧路・秋田・島田工場)

※数量は2014年1-12月生産実績



## 事業提携の狙い

### 想定されるシナジー

- 島田工場のさらなる飛躍  
両社の生産ノウハウを結集し、品質・コスト競争力を強化
- 原材料、燃料、資材等の共同調達
- 効率的な販売体制の確立  
段ボール原紙180万t体制による効率的販売の推進
- 家庭紙及び特殊紙分野においても提携を模索  
両社の強みを活かしたシナジーの追求



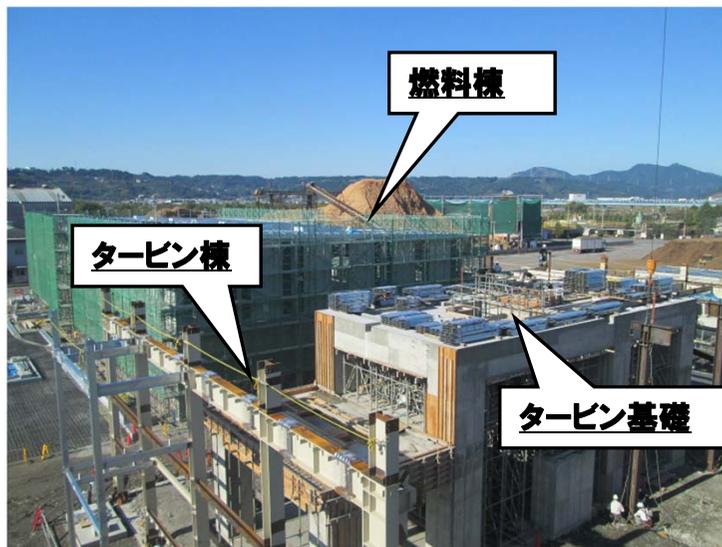


# 第3次中計の進捗状況

(2014～2016年度)



# 島田工場 新バイオマスボイラーの建設状況



新バイオマスボイラー完成予想図

## スケジュール

- ・ 2015年6月 着工。
- ・ 現在、コンクリート打設まで完了。工事は予定通りに進行している。
- ・ 2017年1月 完成、運転開始予定。

## 新タオルマシン(2台目)の建設中



- 2014年6月 建屋工事完了
- 2014年10月 1号抄紙機完成
- 2015年2月 営業運転開始
- 2016年3月 2号抄紙機完成予定
- 設備投資額:約44億円(2台合計)

## ガラス合紙 倉庫の増設

### 内容



- ガラス合紙増産の一環で倉庫を増設した。
- ガラス合紙製品80本と資材を置くスペースを確保。
- 2015年11月完成、運用開始。



# NaSFAの進捗状況

(新商品の開発)



# NaSFAについて

## NaSFAとは

当社の商品開発に係る技術力を4つに分類したもの。  
それぞれ以下の意味を表す。



① Na : Nano technology (ナノテクノロジーから広がる新たな可能性)  
⇒紙の領域を超えたシート状物の開発

② S : Security (偽造防止技術によるグローバル展開)  
⇒黒すかし技術、最新スレッド挿入技術等を用いた製品を投入  
⇒2020年東京オリンピックでの採用に向けた新規要素技術の開発

③ F : Fusion (技術融合による新市場の創造)  
⇒各事業部、関連会社の強みとなる差別化された技術を融合

④ A : Art (新規加工技術による挑戦)  
⇒新加工技術による新たな機能付与とコストの削減

# 新ガラス合紙のシェア拡大

NaSFA

## 内容

- ・ 現在、当社は世界のフラットパネルディスプレイ用ガラス合紙の70%以上のシェアを誇る。
- ・ また多数特許を出願済みで、韓国、カナダで特許が成立している。
- ・ 今後のフラットパネルディスプレイは変形するものが主流となる見通し  
⇒ 益々、ガラス合紙は異物の混入を排除する方向へ
- ・ ディスプレイの高精度化に伴い、高い品質を誇る当社のガラス合紙は今後も使用されていく可能性が高い。
- ・ 現在のシェア70%以上を、今後さらに拡大していくことを目指す。



# エアラス展 全日本空間デザイン大賞・ 日本経済新聞社賞受賞

NaSFA

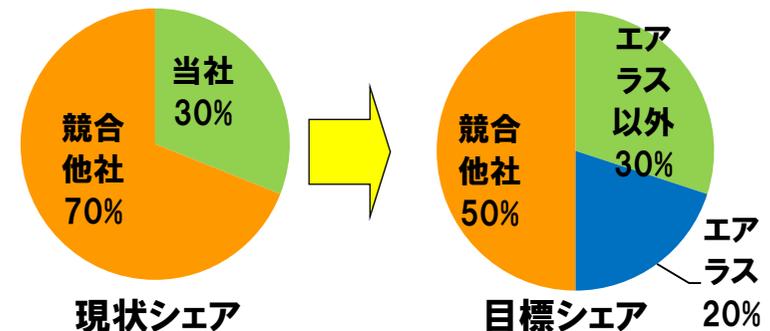
## 内容

- 三島工場に導入した最新の加工機(カーテンコーター)により製造。
- 紙に空間を作りながら、フワッと載せるような塗工技術によって「嵩高」と「緻密な美しさ」を同時に実現した。
- 2015年2月2日 上市。
- **虎ノ門でのエアラス展示会が、2015年全日本空間デザイン大賞・日本経済新聞社賞を受賞。**



## 今後の展開

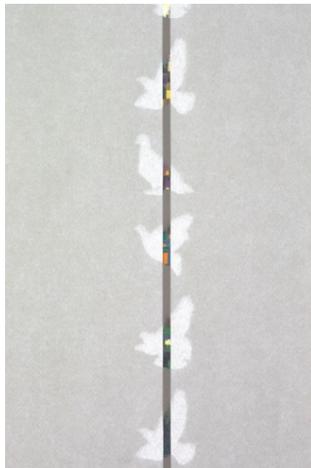
- 2017年度 売上高820百万円、限界利益280百万円を見込む。
- 高級印刷用紙分野における現状の当社シェアは約30%であり、今後同分野においてエアラスで20%のシェア確保を、全体で50%のシェア確保を目標としている。  
※「高級印刷用紙」は当社独自の分類になります。



## 偽造防止用紙の拡販

### 内容

- 本上期はプレミアム商品券の需要があり、偽造防止用紙のうち、該当する商品券用紙の売上高は対前年比+1,202%となった。
- 今後も当社が有する要素技術を利用し偽造防止用紙分野での拡販を目指す。
- さらに2020年東京オリンピック、海外パスポート等新規需要の獲得を目指す。
- 海外向けの見本帳の作製が完了。今後、アジア・オセアニアを中心として見本帳を用いた海外販促を開始する。
- 黒透かしについては、透かし品質を維持しつつ、商品券に必要な強度を確保出来る見込みが立った。
- 今後、商品券を含め国内偽造防止用紙での黒透かしの展開(実用化)を画策する。



ピクチャーウインドスレッド



マルチカラーウォーターマーク



黒透かし

# TT-除染シートの状況

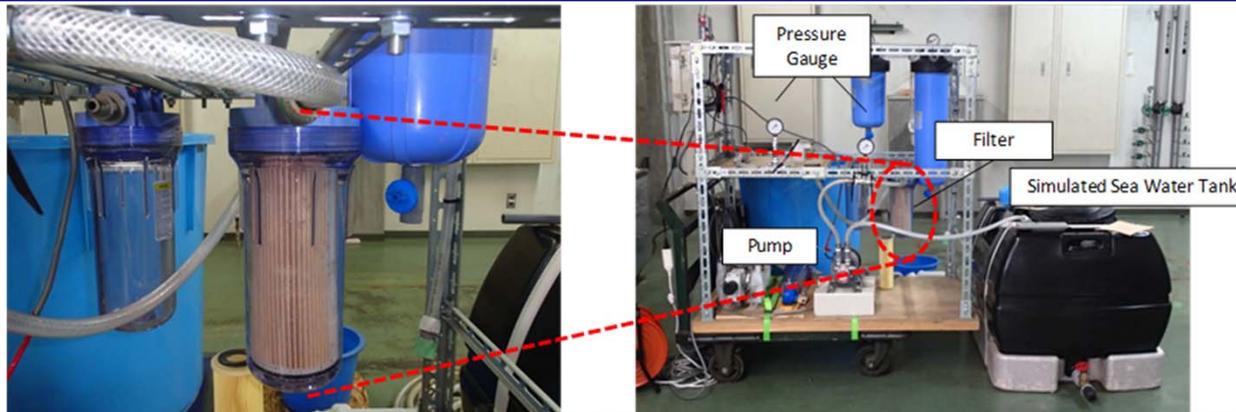
NaSFA

## 内容

- 放射能汚染地域の復興への貢献のため、放射性物質を吸着するシートを開発。
- 不織布間に特殊ゼオライトを挟み込んでいる。
- セシウムおよびストロンチウム除去率が95%以上。
- 縫製、プリーツなど用途に応じた形状に加工可能。

## 現在の状況

- (株)アトックスと共同開発した吸着フィルターが、資源エネルギー庁 平成25年度補正予算「廃炉・汚染水対策事業」の汚染水処理対策技術検証事業において一定の評価を得た。
- 従来技術では困難としていた、微粒粉末を不織布間に挟み込むことに成功。さらなる吸着効果向上を見込む。
- 吸着効果向上やコストダウン改良を継続すると共に、海洋除染や海洋除染以外の用途への採用に向けて活動中。





**お問い合わせ先：財務・IR室**

**〒104-0028**

**東京都中央区八重洲2-4-1  
ユニゾ八重洲ビル**

**Tel 03-3281-8581**

**Fax 03-3281-8591**

本資料に掲載しております当社の計画および施策などは発表日時点において把握できる情報から得られた当社の経営判断に基づいております。様々なリスクおよび不確定要因により、実際の業績と異なる可能性がございますことを、予めご承知おきくださいますようお願い申し上げます。